



平成 21 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 ロ ー ラ ン ド 株 式 会 社  
代 表 者 名 取 締 役 社 長 田 中 英 一  
(コード番号 7944 東証・大証第一部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 中 村 健 也  
(TEL. 053 - 523 - 3652 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 10 月 24 日に公表しました通期の連結業績予想を下記の通り修正しますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	106,700	8,900	8,700	2,300	91 円 60 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	101,000	6,900	5,300	200	7 円 97 銭
増 減 額 (B-A)	△ 5,700	△ 2,000	△ 3,400	△ 2,100	—
増 減 率 (%)	△ 5.3	△ 22.5	△ 39.1	△ 91.3	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	108,560	13,333	13,090	3,621	144 円 22 銭

#### 2. 修正の理由

金融危機に端を発した世界的な景気後退や大幅な円高進行等により、経営環境は今後とも厳しい状況が続くと予想しています。

電子楽器事業では、第 4 四半期に入り北米を中心に消費者マインドが減退するとともに、コンピュータ周辺機器事業においても、企業の設備投資意欲の鈍化等により低調に推移し、売上高は、両事業ともに円高の影響も大きく、前回予想を下回る見込みです。

営業利益は、売上高の減少に伴う生産高の減少と円高による原価率の悪化により予想を下回り、経常利益、当期純利益についても、円高による為替差損が約 13 億円発生する見込みであり、また株式市場の低迷による投資有価証券の評価損等も通期で約 10 億円となる見込みとなったため、前回予想を下回る見込みです。

以 上

注)「2. 修正の理由」の下線部について、報道機関各社へ配布した資料からより分かり易くするため、文章を変更しました。